



日本共産党 荒川区議会議員

横山幸次 区政通信

E-mail:kouji.office@gmail.com

863 2023年5月28日
日本共産党荒川区議会議員団
区役所控室 3802-4627
横山事務所
荒川区町屋5-3-5
&fax 3895-0504

定例法律相談
6月5日(月)
18時~20時
横山区議事務所
お気軽にご相談を

暮らし
応援...

「子育て負担ゼロの荒川区」をめざし
教育費と保育料のいっそうの軽減を



2021年度子供の教育費調査(文科省)

改選後の新たな区議会が5月30日開催予定の2023年度開会会議から本格的にスタートします。先々の区議選の公約の実現にむけ、いっしょに考えていきます。
教育 物価値上げで実質賃金がマイナスへ
就学援助の対象拡大は区の緊急課題
子育ての負担ゼロへ国や都だけでなく、荒川区においても思い切った対策が求められています。
その中でも、教育費は、義務教育段階でも家計の負担が大きく暮らしを圧迫しています。最近の調査結果から実態を見てみます。
文科省の「子供の教育費調査2021年」では、公

幼保無償化になりましたが、0~2歳児は対象外です。現在は、第三子無料、第二子半額という軽減が実施されています。今年10月から東京都が第一子無料を実施します。
いちばん保育料負担が高い0~2歳児の保育料の無償化に踏み切ることが必要です。10月からの都の第一子無償化に合わせて、区として第一子無償化に踏み切るときです。年間2億5千万円で実施できます。

保育

幼保無償化から取り残される0~2歳児として無償化に独自の財源措置を

は、確実に広がっています。区としてできることの1つが就学援助の対象を当面生活保護の1.2倍から1.5倍に拡大することです。費用も年間4千万円程度で実施できます。給食無償化に続く支援として実施を求めています。

Table with 3 columns: Category, First child, Second child. Rows include number of children, total childcare fees, and current burden status.



コロナ5類移行・後遺症や高齢者施設への対応を

実態把握がむずかしくなる中で、高齢者施設などでも後遺症が残る方への医療支援が問われています。日本共産党区議団は、新型コロナウイルス後遺症とワクチン健康被害の実態調査を、区に求めてきましたが、感染症法上5類への移行に伴い、必要な医療と保健所体制の充実を改めて要望しました。
新たな感染拡大も想定し、リスクの高い高齢者などの命と暮らしの質を守るクラスター対策、後遺症などの実態調査、必要な医療を

QR code and list of medical facilities for COVID-19 sequelae: 東京日暮里たんのハートクリニック(東日暮里), 武田内科小児科クリニック(町屋), 令和あらかわ病院(西尾久), ぜんそくと肺のクリニック(東日暮里).



晴天のもと「あらかわバラの市」が久々の開催
都電沿線とともにバラの花で埋め尽くされた一日
5月21日曜日にあらかわ遊園運動場周辺で「第13回あらかわバラの市」が開催されました。都電の沿線、約4キロにわたり色とりどりのバラで埋め尽くされ、バラの香りに包まれました。
以前のような日常が戻ってきたようです。



しかしコロナ感染も不気味に増え続けています。感染対策を十分に行って、行動することが大事な時期になっているようです。
横山幸次



